

行田税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞 入選

僕にできること

羽生市立南中学校

一年 金子 遥音

「なぜ、消費税なんてあるんだろう。」

買い物をする時に、いつも思っていた。千円の物を買う時、消費税がなければ千円札一枚でびったり出せるのに。消費税分の百円で、あとひとつ何か買えるのに。

小学校の林間学校の帰り、お土産屋さんで買い物をした。その頃は、一人で買い物をするという経験がまだほとんどなかったので、少し心配だった。おこづかいが足りるように、一生懸命計算しながら、お菓子やマグネットなどを選んだ。

レジで会計をしている時、エコバッグをバスに忘れたことに気付いた。レジ袋を購入しなければならなくなり、レジ袋を購入した。すると、商品代とレジ袋と消費税の合計がおこづかいより三円オーバーしてしまった。仕方なく五十円のマグネットをあきらめた。エコバッグを忘れた自分が悪いのだけれど、消費税がなければ全て買うことができたのにと思った。

消費税って、今は当たり前のものだけれど昔は消費税がなかったこと

を親から聞いた。そして、段々と税率が引き上げられて来たことも。消費税がなかった時代があったなんて、今よりお金が使えていいなあと思った。そもそも、税金って何に使われているのか、よくわからなかった。わからないからこそ、余分なお金を取られているような気持ちになるのかもしれないと思い、税金の使い道を調べてみた。

税金の使い道は、思っていた以上に色々あった。医療や介護、教育や研究。消防や警察に、ゴミの処理や道路の整備。知らないうちに、税金の恩恵を受けていたことがわかった。

先月、僕は、突き指で整形外科を受診した。そこにも税金が使われていると知った。消費税にイラっとしていたけれど、風邪やけがで病院にかかる度、医療費を全額払っていたら、それこそすごい金額になると思う。

学校に関連する多くのことにも税金が使われていた。僕は、バレーボール部に所属している。練習で使うネットやボールなどの体育用品にも税金が使われていると知った。僕らが負担なく練習に励むことができるのも、税金のおかげだったのだ。

税金と聞くと、どうしても良いイメージがない。取られているというマイナスのイメージだ。しかし、税金がなければ、今のこの当たり前の毎日を送ることができないことがわかった。受けられる恩恵も増えている。

税金を納めていない僕たちは、いかに税金をむだにしないかを考えたい。学校のを丁寧に取り扱う。ゴミを減らし、きちんと分別する。当たり前で小さなことかもしれないけれど、税金の使い道を知ったからこそ、その大切さがわかる。

できることから、少しずつ。僕たちの未来のために頑張りたい。